

# 平成24年度経済見通しの概要

〔平成24年1月24日  
閣議決定〕

- 24年度の我が国経済は、本格的な復興施策の集中的な推進によって着実な需要の発現と雇用の創出が見込まれ、景気は緩やかに回復していく。
- 世界の金融資本市場の動揺が安定化することを前提とすると、世界経済の好転は我が国の輸出や生産にとって望ましい環境をもたらしていくと考えられる。
- 消費者物価上昇率は、GDPギャップの縮小等により、0.1%程度となる。
- 先行きのリスクとしては、欧州政府債務危機の深刻化等を背景とした海外経済の更なる下振れ、円高の進行やそれに伴う国内空洞化の加速、電力の供給制約等が挙げられる。

## ○主要経済指標

	22年度 実績 (%)	23年度 実績見込み (%程度)	24年度 見通し (%程度)
実質GDP	3.1	▲0.1	2.2
民間消費	1.6	0.3	1.1
民間住宅	2.3	2.9	6.3
民間企業設備	3.5	▲1.1	5.1
民需寄与度	2.3	0.0	1.6
公需寄与度	0.1	0.6	0.2
外需寄与度	0.8	▲0.7	0.4
名目GDP	1.1	▲1.9	2.0
消費者物価(総合)	▲0.4	▲0.2	0.1
完全失業率	5.0	4.5	4.3

## ○実質GDP成長率と寄与度 (%, %程度)

